

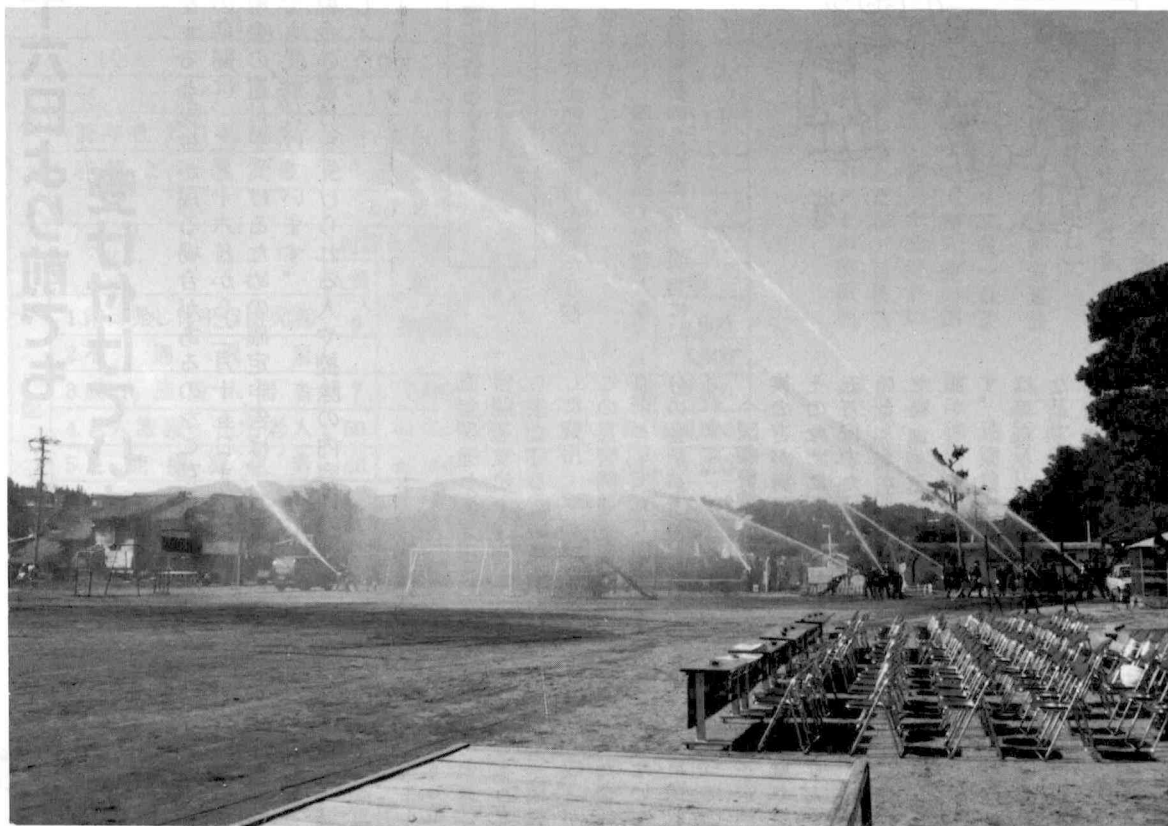
広報たしる

No. 342

昭和57年2月号

田代町総務課編集

1,500部発行



“新春の青空に 消防の意気示す”

昭和五十七年田代町消防出初式

新春恒例の消防出初式が一月七日、田代小学校校庭で開催されました。

例年、寒風の吹く中で行なわれる日が多いのが出初式でありましたが、今年は快晴、しかもほとんど風もなく厳肅な中にも盛大に挙行されました。

私達町民が日夜安心して生活できるのも消防団員の皆さんの日頃の絶ゆまぬ訓練と勇敢な精神が支えるたまものだと思われま

す。
一糸乱れぬ市中行進、規律正しく、きびきびした訓練など身の引きしまる思いがすると同時に、私達町民も身の回りの火の用心に心がけ、火災発生防止に協力したいものです。

県税滞納整理特別対策班始動

- ◎ 納税相談は、早目に財務事務所へ。
- ◎ 個人県民税については、市町と協議し、滞納の一掃に全力をあげる。
- ◎ 悪質滞納者については、財産調査、差押公売等の強行手段を構ずる。
- ◎ 滞納者との接触を図り、事情聴取、納税折衝、夜間徴収等を強化する。
- ◎ 税負担の公平と税収入の確保を図るため、昭和五十七年一月から三月までを滞納整理特別対策月間として全職員一体となって強力に推進する。
- ◎ 鹿屋財務事務所では、県の方針にそって「県税滞納整理特別対策班」を設置し、滞納者の一掃に全力をあげております。納税者の理解と協力をお願いします。
- ◎ 税負担の公平と税収入の確保を図るため、昭和五十七年一月から三月までを滞納整理特別対策月間として全職員一体となって強力に推進する。

内 訳		金 額		備 考	
受 入	実 績 額	1 6 3,3 1 1 円			
	前年度より繰越金	1 4,7 2 9			
	社協より繰入金	1,8 3 0			
	計	1 7 9,8 7 0			
配 分	区 分	施設入居者	在宅対象者	合 計	
		人員 額	人員 額	人員 額	人員 額
配 分	1.精薄児・体不自由児(者)	9 9,000		9 9,000	
	2.不 遇 児 童		3 6,000	3 6,000	
	3.成人施設入居者	7 7,000		7 7,000	
	4.老人施設・在宅老人	50 50,000	28 56,000	78 106,000	
	5.長期療養患者	46 46,000		46 46,000	
	6.生活困難世帯		1 2,000	1 2,000	
	7.災害地・辺地・その他				
他	小 計	112 112,000	32 64,000	144 176,000	
	社協へ繰出し(送金料)			(9) 3,870	
	翌年度へ繰越				
合 計		112 112,000	32 64,000	144 179,870	

歳末たすけあい募金への御協力ありがとうございました。ごさいました。田代町社会福祉協議会

昭和五十六年十二月一日より二十五日まで、婦人会の御協力を得て、歳末たすけあい募金を致しましたが、目標額の一一六パーセントの実績を

あげることができました。御協力、誠にありがとうございました。目標額 一四〇〇〇〇円 実績額 一六三三一一円 (戸別募金一五五五九〇円 個人募金八七二一円)

この募金は十二月二十五日、長期療養者、ねたきり老人等の方々へ配分いたしました。

どこでも だれでも いつでも学べる西高へ！

- 一、修学年限 四年以上
- 二、入学資格 (イ) 中学校卒業 (ロ) 高校中退、旧制中学校、高等女学校、青年学校の卒業生及び修了者 (相当学年に編入ができる。)
- 三、(イ) 高等学校の卒業生で、もっとも教養を高めた者、または一部の科目の学習をしたい者。
- 四、(ロ) 普通科 (一般の入学希望者)
- 五、(ハ) 衛生看護科 (准看護学校の入学生)
- 六、(ニ) 農業経営学科 (鹿児島県農業大学専修科で農業経営者としての学習をしている生徒)
- 七、募集期間 昭和五十七年三月二十日から昭和五十七年四月十五日まで
- 八、入学許可 書類審査による。
- 九、学力検査は行なわない。
- 一〇、郵便番号八九〇 鹿児島市下伊敷町四四一 四、県立鹿児島西高等学校通信制入学係 電話 〇九九二 三三三四

税金 還付のための確定申告

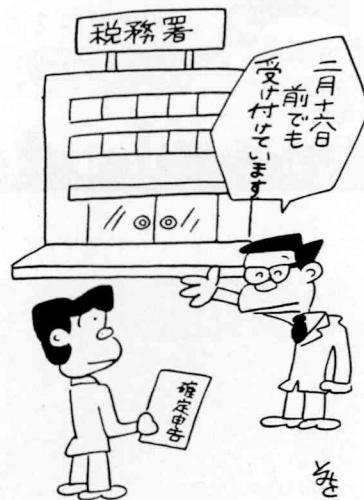
二月十六日より前でも受け付けています

確定申告をするのと税金が戻る場合があるのをご存じですか。確定申告の期間は、二月十六日から三月十五日までです。しかし、税金の還付を受けるための確定申告は、二月十六日より前でも受け付けています。そこで、税金の還付を受けられる人や控除の内容についてみてみましょう。

サラリーマンの方で、確定申告をすると税金が還付される場合

「雑損控除」 災害や盗難に遭い、住宅や家財に損害を受け、その損害額が年間所得の一〇%を超えたとき、その

超えた金額が所得金額から控除されます。なお、雑損控除の対象となる損害額のなかには、災害に



直接関連して支出した費用(災害関連支出) 例えば豪雪から家を守るために雪おろしをした費用)が、含まれます。この災害関連支出については、原則として五万円を超える部分の金額が所得金額から控除されます。

「医療費控除」 本人や家族の方が病気やケガをして、そのために支払った医療費が五万円または年間所得の五%のどちらか低い方の額を超えた場合、その超えた部分の金額が所得金額から控除されます。医療費控除の最高限度額は二百万円です。ただし保険などで補てんされた金額は除きます。

「住宅取得控除」 マイホームを新築したり、購入した

場合、一定の要件にあてはまれば、定額控除として一万七千円が所得税額から控除されます。

また、定額控除を受けることのできる人が、民間金融機関等から返済期間十年以上の住宅ローンの融資を受けている場合、一年間の返済額に

サラリーマン以外の場合

サラリーマン以外の方で税金の還付が受けられるのは次のような方です。

- ① 原稿料や利子、配当などの収入があり、それらを含めた全体の所得があまり多くないため、原稿料などの源泉徴収税額が納め過ぎになっている人
- ② 予定納税をしていたが、休業や廃業などで所得が前より大幅に減った人

このように、税金の還付が受けられる控除はいろいろあります。

控除を受けるためには、領収書や証明書など一定の書類を申告書に添付したり、サラリーマンの方の場合は、このほかに給与所得の源泉徴収票が必要です。また、サラリー

マンの方には簡単な申告用紙が用意してありますのでお書きください。

控除や確定申告について分からない点がありましたら、お近くの税務署や税務相談室でお尋ねください。

確定申告期限が間近になりますと税務署は込み合いますので、なるべく早めに済ませましょう。



もう一步 進めませんか 冬の省エネ

—2月は省エネルギー月間—

日本人一人当たり、一日約七リットルの石油を使っている。暖房としての灯油やLPガスばかりでなく、化学繊維やプラスチックなどの化学工業原料として、また、発電設備や自動車動かす

「省エネルギー」は「純国産エネルギー」

エネルギーとして、石油はわたしたちの暮らしを支えています。その石油のほとんどすべて（九九・八％）を海外から輸入しているのが国にとって、これからの暮らしを守るために欠かせないのが、石油に代わるエネルギーの開発と省エネルギーの推進です。

二月は「省エネルギー月間」です。あらゆる面でエネルギーの無駄を省き、できる限り効率的に使う。省エネルギーは、いわば国民一人ひとりの知恵と努力と心掛けによる

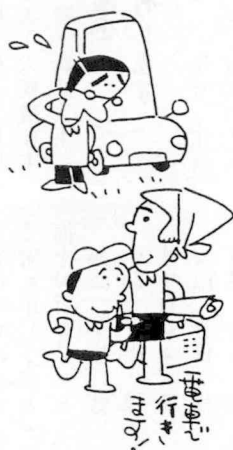


エスキモーは、時には氷片を積み雪を固めてイグルー（氷の家）を作り、仮泊することもある。氷点下40～50度に下がっても屋内は十分に暖かく過ごすことができる。



「純国産エネルギー」ともいえます。「もう一步進めませんか冬の省エネ」この機会に、いま一度暮らしの中の省エネルギーについて考えてみたいものです。

冬の省エネルギー・メモ



（部屋の温度）部屋着を少し厚めにするなどして、摂氏十八度を目安に、こまめに温度調節をしたいもの。暖房温度を一度下げると、燃料費は約一割節約できます。

（部屋の保温）カーテンは厚手のものを用い、天井から床までたらしめます。また、カーペットを敷いたり、窓や壁などに目張りをするといよいでしょう。

（暖房器具の使い方に工夫を）部屋の用途や大きさ、使う人に合わせて暖房器具を選ぶのがコツ。また、ストーブは時々手入れをすると、効率よくエネルギーを使うことができます。

（電気こたつは上手に使う）こたつ敷きを用いるとともに、こたつ掛けは厚手のものを使

い、適等な温度調節を心掛けましょう。

（入浴は家族が次々に）冬は風呂が冷めやすいので、沸いたら家族が次々と入浴するのが、エネルギーを上手に使うコツです。

（湯沸器の使い方に工夫を）使わないときは口火を消しましょう。また、湯は流しっぱなしにしないで、必要な分だけ容器に取って使うと、無駄が省けます。

（マイカー利用の自粛を）一人を同じ距離運ぶのにマイカーは電車の七倍、バスの五倍ものエネルギーが必要です。公共の交通機関が使える場合の遠出は、なるべくマイカーの利用を控えたいものです。また、マイカーを利用している人は節約運転を心掛けましょう。

成人式

新春を飾る若人の式典「成人式」が一月三日、町開発センターにおいて挙行されました。

当日は、真新しいスーツや晴れ着に身を包んだ新成人一人（田代在住者二十六名）の皆さんが参加され、式典、アトラクション等で一日を過ごされ、決意も新たに大人の仲間入りとしての第一歩を踏み出されました。



また、新成人を代表して、川前伸二さん、湯ノ谷ひろ子さん、牛牧芳江さんの三名の方々が成人式を迎えた喜びや不安、これからの人生の目標など力強く感想を発表されました。



交通安全全国表彰!!

今後無事故をめざして

大原小学校

交通安全全国表彰に、大原小が決定のニュースが入ったのは、昨年の十二月であった。県下で只一校とのことに、全校あげて喜びにわき、今後交通安全を絶対しないようにしようという決意を新たにしました。

去る一月二十二日の受賞式には、全校を代表して教頭の芝原先生が上京され、日比谷公会堂での式に参列された。二十五日月曜日全校朝会の時、立派な賞状とピカピカ光る「たて」を前にお土産話をされた。

受賞者の中に九十五才の方がおられて、今でも車を運転しておられ、姿勢も背すじを伸ばし、歩く態度も実に立派であった。とお話に、児童達から思わず「ホウ」という小さな驚きの声があがる。

これから、姿勢をよくし、この賞状にはずかしくないよう交通のきまりをよく守り、交通事故のないように十分気をつけましょう。と話されると、八十五名の全員が「ハイ」

- と元気よく答えました。
- 第二十二回交通安全全国国民運動中央大会で宣言されたことは、つぎの五項目であります。
- 一、安全運転五則の徹底
 - 二、安全速度を必ず守る。
 - 三、カーブの手前でスピードを落とす。
 - 四、交差点では必ず安全を確認する。
 - 五、一時停止で横断歩行者の安全を守る。
- （五）飲酒運転は絶対にしない。
- 二、こどもと老人の事故防止
- 三、自転車、原動機付自転車自動二輪車の安全教育の推進
- 四、企業等における安全対策

「こわい！あき地の枯草」
—南部消防署—

多い子供の火遊びやたばこの投げ捨て、野焼、草焼は風の強い日に周囲に十分な空地をとり、水バケツ等を準備し最後の消化まで気をつけて行ないます。

※万一、火災になったら大声で人を呼び「119」番に通報しましょう。

※火をつける前にまず消防署へ連絡しましょう。

「春季全国火災予防運動」 2月28日～3月13日

- 五、の強化
- シートベルト、幼児保護具、ヘルメット着用励行
 - 尚、本年度の交通安全年間スローガンは、次の通りです。
 - ※ だいじょうぶ でももう一度右左
 - ※ あぶないよ 車が見えない まがりかど
 - ※ 危険です 寝不足 積み過ぎ 飛ばし過ぎ
 - ※ 私たち大原小では毎日下校する時全員で「交通安全ちかいのことば」十項目をとえ、その実践を通して事故を起さぬよういつも気をつけています。これからも無事故をめざし全校あげて努力します。

健康だより



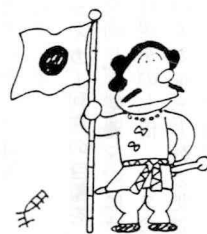
「冬の健康管理」
脳卒中や心臓病などの成人病、老人病の集中する危険な季節を元気にのりこえる秘訣はまず寒さから身を守る事です。老人や体の弱い人は、なるべく外出を避け、やむを得ない時は防寒保温に気をつけましょう。次は家内の暖房です。戸の建てつけ、すき間テープ、厚地カーテンの利用ですき間風を防いだり、ストーブの使用で部屋全体を暖めましょう。しかし、一室だけ暖かくても便所や台所、廊下が寒ければ血圧も上り脳卒中、心臓発作のもとです。特に便所は脳卒中を起こしやすい場所です。今日から電気ストーブなど置き幸福を守ることです。又老人、高血圧、心臓病の気配のある人は寝室にしびんの準備もしましょう。寝具も一番冷える床面の寒さから守る為敷き布団も重ねた方が効果的です。六キロ以上の重い布団をかけると脳卒中を起

こすきつけをつくりまします。冬の入浴も浴室及び脱衣場の温度に注意しましょう。寒い浴室で熱いお湯に入るのは危険です。さて次は食べ物について考えてみると、とにかく冬はビタミンが不足し勝ちです。野菜、特に緑野菜をたくさん摂るよう心がけます。その他果物、肉、魚、大豆製品、卵などの蛋白質、海藻類、牛乳も適度に毎食の献立に組み入れて下さい。冬に脳卒中が多いのはビタミンC不足との関係があると言われています。野菜をうんと食べましょう。その他飲酒、脂肪のとりすぎ、睡眠不足、過労などが老人病を助長し、これに寒さのストレスが加わって発作が起きるのです。着るもの、食べ物、住まい、心、すべての面で冬に適した暮らし方をするのが生活のチエであり、冬を元気にのりこえるひけつです。



人		口	
人	口	人	口
基	台	帳	人
5	1	1	日
7	1	1	現
年	月	日	在
男	2,188人	6人	人
女	2,352人	0人	人
計	4,540人	6人	人
世帯数	1,466戸	1戸	戸

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません



建国記念日 2月11日

篤志寄付金

田代町社会福祉協議会
長谷部落の牧原清二様は拾得謝礼金を町社会福祉の為に役立てて下さいと御寄附をいただきました。感謝申し上げます。
また、先に逝去されました御遺族から香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附をいただきました。厚く御礼申し上げますと共に御冥福をお祈り致します。

橋口 栄次 様
中間 栄 様
井手口 栄 様
安田 良則 様
貫見 モル 様
牧原 正恵 様

「初めての楽焼き」

大原中学校 二年 山田道代

「美術の時間は、楽焼きの勉強をします。」と先生から聞いた時は、初めての楽焼きづくりと、手づくりの楽しさに胸がわくわくしました。何をしようかと迷いましたが、装飾品よりも実用品としての皿づくりに挑戦、いよいよ、粘土をねって形をつくる

待望の楽焼室完成

大原中学校



(モダンな楽焼室)

体育館に次いで、モダンな楽焼室（電気焼き窯利用）が完成しました。

美術科では、「粘土の性質と焼きものの製作方法を理解し、使うものや飾るものを作ろう」というテーマのもとに十一月から楽焼きの製作にとりかかっています。

粘土ねりから始まり、各自がアイデアを生かした器物や動物像、人間像の成形、日陰での乾燥、素焼きとすすみ、現在では下絵づけや上薬かけなどしての本焼き（完成）の準備中です。

生徒たちは、自分でデザインし彩色した手づくりの本焼



これは誰の作品かな?

教育モニター募集について

文部省では昭和五十七年度教育モニターを募集しています。詳しく知りたい方は教育委員会へお問い合わせ下さい。

三年生の進路決まる!!

田代分校

高校生の就職試験開始は十月一日以降となっていますが田代分校では、就職希望者は全員年内に就職先が決定（採用内定）しました。

昭和五十六年度、当校へは県内から五十二社、県外から一〇四八社、計一一〇〇社の求人がありました。不況下にもかかわらず昨年よりもや増えていきます。これを求人倍率でみますと、全国平均が生徒一人当り三・三社であるのに対して、当校の場合生徒数が少ないということもありますが、二〇・四社と非常に高くなっています。

求人倍率が高いので、自分の就職先をさがすとき、生徒にとってはよりどりみどりのと言えますが、それでも条件のいい企業を希望すると競争率が非常に高くなります。今回、当校の三年女子のなかには、十倍、十数倍の競争にうち勝って有名企業の事務系職の採用試験に合格したのも何人かいます。

現在、当校三年生の進路は進学希望の一人を除いて全員

決定したわけですが、その進路状況は次のとおりです。

(1)進路別

各種学校等進学 5人 (10%)

(2)地区別就職先

就職 46人 (90%)
関東 9人 (20%)
中京 12人 (26%)
関西 14人 (30%)
県外計 35人 (76%)
県内 11人 (24%)

(3)職種別

事務 9人 (19%)
販売 13人 (28%)
技能 17人 (37%)
サービス 5人 (11%)
公務 2人 (4%)

就職先についてみますと、県内就職は昭和五十三年度までは一〇%台でしたが、五十四年度以降は二〇~三〇%と地元志向の傾向がうかがえます。

これらの三年生は一月二十七日から卒業考査、二月二十日の卒業式を目前にひかえ、最後の高校生活を意義あるものにしようと日夜がんばっています。

